

「神であるイエス・キリスト」

【暗唱聖句】

I ヨハネ 5:5

世に勝つ者はだれか。イエスを神の子と信じる者ではないか。

【目的】

前回は、イエス・キリストが完全な人であることを学びました。

私たちと同じように、あるいはそれ以下の生活の中で、私たちと同じように子供時代を過ごし、人間の喜び、痛み、肉体の制限を体験されました。

今回は、キリストのもう一つの重要な面を学びます。

それは、イエス・キリストが、神であられることです。

1、神様とはどんなお方でしょうか。

イエス様がどんなお方であるかを学ぶ前に、そもそもどんなお方が神様か復習しましょう。
一年前に、私たちは神様がどんなお方であるかを学びました。

神様とはこのようなお方でした。

- ・ 完全な聖さを持ったお方
- ・ 永遠のお方（創造以前より存在し、永遠に生きておられる）
- ・ 全能なお方（どんなことでもすることができる）
- ・ 全知（すべてを知っておられる）
- ・ 不変（いつまでも変わらない）
- ・ 偏在（どこにでも居られる。空間に制限されない）
- ・ 創造主（天と地、私たち・地球・宇宙を造られた方）
- ・ 罪を赦すことができる（権威を持っておられる）
- ・ 礼拝を受けるにふさわしい方

2、イエス・キリストについて聖書はどう語っているのでしょうか。

イエス・キリストは・・・

（1）完全な聖さを持ったお方でした。

イエス様は罪を犯されませんでした。

ヨハネ

8:46 あなたがたのうちだれか、わたしに罪があると責める者がいますか。わたしが真理を話しているなら、なぜわたしを信じないのですか。

2 コリント

5:21 神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。

(2) 永遠のお方 (創造以前より存在し、永遠に生きておられる)

黙示録 22 : 13

わたしはアルファであり、オメガである。最初の者であり、最後の者である。初めであり、終りである。

(3) 全能なお方 (どんなことでもすることができる)

マタイ 28:18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。

(4) 全知 (すべてを知っておられる)

ヨハネ 16:30 いま私たちは、あなたがいっさいのことをご存じで、だれもあなたにお尋ねする必要がないことがわかりました。これで、私たちはあなたが神から来られたことを信じます。

(5) 不変 (いつまでも変わらない)

ヘブル 13:8 イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも、同じです。

(6) 偏在 (どこにでも居られる。空間に制限されない)

マタイ 28:20 見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

(7) 創造主 (天と地、私たち・地球・宇宙を造られた方)

コロサイ

1:16 なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。

1:17 御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。

ヨハネ

1:2 この方は、初めに神とともにおられた。

1:3 すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。

(8) 罪を赦すことができる (権威を持っておられる)

マルコ

2:9 中風の人に、『あなたの罪は赦された。』と言うのと、『起きて、寝床をたたんで歩け。』と言うのと、どちらがやさしいか。

2:10 人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせるために。」こう言うってから、中風の人に、

2:11 「あなたに言う。起きなさい。寝床をたたんで、家に帰りなさい。」と言われた。

2:12 すると彼は起き上がり、すぐに床を取り上げて、みなの方を見ている前を出て行った。それでみなの方がすっかり驚いて、「こういうことは、かつて見たことがない。」と言って神をあがめた。

(9) 礼拝される方 (礼拝を受けるのは、ただ神様だけ)

マタイ

8:2 すると、ひとりのらい病人がみもとに来て、ひれ伏して言った。

ピリピ

2:10 それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、

2:11 すべての口が、「イエス・キリストは主である。」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。

3、イエスキリストは神様です。

聖書を調べると、イエスキリストがどんなお方であるかが書かれています。

それを、ひとつひとつ見ていくと、それは神様のことと同じであることがわかります。

つまり、聖書は、イエスキリストこそが真の神様であること教えているのです。

イエス・キリストは、私たちの神様です。

私たちはこのお方を信じています。

弟子たちが、イエス様の本当の姿を見た出来事があります。

4、イエスの姿が変貌した出来ごと。

マルコ 9:2

それから六日たって、イエスは、ペテロとヤコブとヨハネだけを連れて、高い山に導いて行かれた。そして彼らの目の前で御姿が変わった。

9:3 その御衣は、非常に白く光り、世のさらし屋では、とてもできないほどの白さであった。

9:4 また、エリヤが、モーセとともに現われ、彼らはイエスと語り合っていた。

9:5 すると、ペテロが口出ししてイエスに言った。「先生。私たちがここにいることは、素晴らしいことです。私たちが、幕屋を三つ造ります。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」

9:6 実のところ、ペテロは言うべきことがわからなかったのである。彼らは恐怖に打たれたのであった。

9:7 そのとき雲がわき起こってその人々をおおい、雲の中から、「これは、わたしの愛する子である。彼の言うことを聞きなさい。」という声をした。

9:8 彼らが急いであたりを見回すと、自分たちといっしょにいるのはイエスだけで、そこにはもはやだれも見えなかった。

(変貌山の出来事)

イエス様は弟子たちを連れて高い山に登りました。弟子たちに「従う者の幸い」という教えをして6日後のことでした。ペテロとヤコブとヨハネだけを連れて行きました。高い山に登ったのは人々から離れ祈るためでした。山でイエス様の姿が変わりました。弟子たちの目の前で姿が変わりました。み衣が白く光り、驚く白さになりました。エリヤ(預言者)とモーセ(律法が現われイエス様と語りあっていました。

弟子たちはイエス様の栄光の姿を見ました。

ペテロは驚きと恐怖のため「3つの幕屋をつくる」と言いました。

雲がわきあがり人々をつつみ、雲の中から声がしました。

声がした後、弟子たちが一緒にいたのはイエスさまだけでした。

イエス様は、この時、イエス様が神様であることをペテロたちに教えました。

イエスだけが、神様です。

この時、ペテロに語られました。

「これは、わたしの愛する子である。彼の言うことを聞きなさい。」

私たちが本当に聞かなければならない声は神様の声です。そしてそれはイエス様が語られる言葉ですね。

私たちもイエス様を神様と信じ、イエス様の言葉を聞き、信じてしたがっていきましょう。